

騒音・振動の防止

事例名	10. 低騒音コンクリート舗装工事
工事名	一般国道324号出島バイパス
施行場所	長崎市新地町～早坂町
事業年度	平成4年度～平成15年度
実施機関	出島バイパス建設事務所
適応可能な事業	道路

<具体的な環境配慮内容>

車両通行による騒音の軽減

<環境配慮の目的と視点>

車両通行時の目地部での騒音を軽減する。

<環境配慮技術の概要>

横目地のない連続鉄筋コンクリート舗装によって、車両走行時の騒音・振動の低減を図る。

連続鉄筋コンクリートは、鉄筋組み立て作業の後、写真1に示すコンクリートスプレッタにてコンクリートを連続的に打設するものである。

舗装コンクリート打設後は、コンクリートカッタにて車線間に縦断方向に設けることで横目地を廃止し、車両通行時に目地部で生じる騒音の軽減に努めた。



写真1 コンクリートスプレッタ

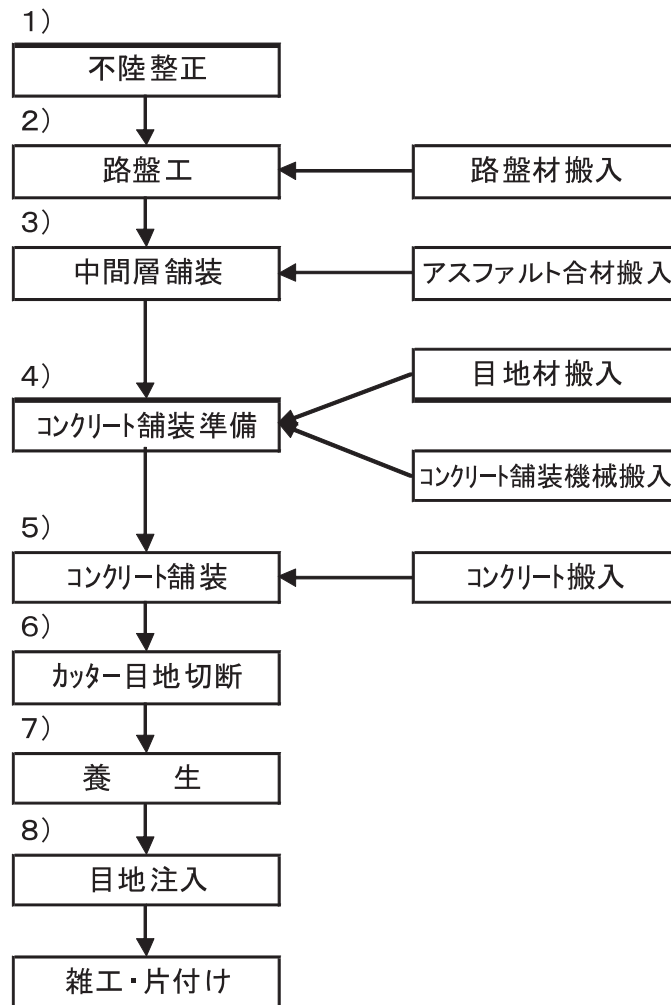


図 1 舗装工の施工フロー

< 環境配慮による効果 >

横目地を廃止し、車両通行時に目地部で生じる騒音を軽減することが出来る。

車両の走行に対する快適性が向上する。

< 課題等 >

舗装構造は、設計交通量に応じて適切に設定する必要がある。

< 同技術を採用した他の事例 >

工事名称	実施機関